

# 寺報

龍正寺

日なた 136号

感謝

日  
延



<令和 元年 9月>

宝龍会  
護持会

## 経職一言 (感謝)

10年前にかぶ前立腺癌と宣告され(ステージは8)。

10年の寿命と診断を受け、頭の中は真っ白になり、色々な事が手につかない状態でした。

セカンドオピニオンをお願いしたし、大きい病院の専門医師に相談したりしました、結果は同じでした。

医師の指導により、放射線治療等に専念して来ました。

診察がある度に胸がドキドキで不安でした。

変わらぬと言われ、胸をなでおろしました。

検査等を受けている間に、他の病いが見つかりました。

年に一回は検査をした方が身体の為ですよと医師の指導がありました、今では定期検査を受けています。

この病気のお陰で他の病も分かり、大難は小難、小難は無難と過ごさせて頂いていきます、身心共にポジティブにやれました。

8月には、前立腺癌の検査並みに診察でした、マーカー数値も下り安定しているのもう大丈夫、転移も見られないからもういいでしょうと診断を受け、10年目に

して前々腺癌の診察検査が終了と言われて、胸を  
大きくなぶおりました。

今日まで、これた事は 仏僧 三室、御題目のお陰様で  
す、良き医師と出合、良き人々と出合、心が挫けそうになっ  
た時、支えて頂いた方、ありがとうございます。

廻り合えた事は 法華経 御題目のお陰様です、報恩  
感謝の気持ち いっぱい です、益々精進致してまいり  
たいと思っております。

皆々様方も、身体には充分気を付けて下さいます事と  
お祈り申し上げます。

合 掌

8月6日

私は、弟と共に8月6日 お墓参りに行きました。

私は、この日休みを希望しておらず、上司には、仕事でいいですよと言っていたのですが、休みになっていました。

弟は不思議と8月6日には行きたいと思っていました。その偶然が重なり、8月6日にお墓参りに行く事になりました。

当日、山梨県へのお墓参りへ。

武田神社参拝し、その後お墓参りへ。お墓の周りには、どくだみの葉で覆われていました。弟は草を取り、墓石を拭いて「ねーちゃんは何もしてなくていいよ」と言い、汗だくで綺麗にしてくれました。

その間、私に出来る事はなにかと考え、灯笼と名前の刻られている石を拭いていました。

拭いている時に「(自分を)磨けよ」「名を汚すなよ」という思いが頭をよぎりました。

これは、御先祖様からの伝言だと思いました。

お墓参りを終え、今年は、波木井山へ行く予定とし、身延山へは時間的な事もあり、行かないであらうと思っていたのですが、良いタイミングでお上人様より助言をもらい、波木井山、身延山と参拝することができました。弟は、お上人様からの助言のタイミングにびっくりするのと、助言に対して素直に行動しているのです。

波木井山では、金鐘をつくことができ、身延山では、弟と共に祈願することもできました。

帰る時もお上人様より助言があり、中央道で帰らず新東名で帰ることになりました。

帰る途中、道路の渋滞情報を見ていた弟はびっくりした顔で・・・「仏様助けられてるなあ」の一言。

最初、帰ろうとしていた中央道では、事故で通行止めが表示されていたのです。

今年は、仏様によって助けられた事が多く、弟も何か感じてらしく「今日のお墓参りは、

俺がねーちゃんを連れて行く、たんじゃなくて、俺が  
ねーちゃんに連れて来てもらっ、たんた「なあ」としめじめと  
した顔で言っているのを聞かせてもらい、私自身  
ありがた、いなあと思ったのと、多くの行程が  
あったのに帰宅したのが夕方 16時、その速さに  
弟は再度びっくり、体もえらくよかったと言い、  
とても充実した、実りあるお墓参りでした。

事故もなく無事帰宅でき、仏様、御先祖様  
には感謝です。

## 研修で見た光景を考える

8月にとある研修で目の当たりにした光景を考えた時、これは私に対して注意してもらってる光景なのだと思う出来事でした。

講師の先生が遅刻され、待っている間でした。

股を開き、だらしない座っている女性。その方は、前の椅子に足を乗せたりと...とてもリラックスしているようでした。

端から見ると、とてもだらしない印象と、不快な感じを受けました。

これでもしかして、過去の自分!?!と思わずにはいられなからたのです。

若い頃の自分は、女生らしく振る舞うことが嫌で(父から女の子らしくしろと、怒られていたこともあり)その反発心から)相手が、どう思おうと気にもしない態度をとっていた事が、実に多かったです。

この研修で待っている間の、状況を見た時、所作態度によっては相手に不快感を与えるということが自分のバヤ真に入った感じがしました。

丁度、お墓参りに行った後でしたので、自分を磨くこと相手に不快を与えない大人になる事を、再度「失礼様・イヤ様」から念押しされたように思います。

すべては繋がっていると、お上人様より教えて頂くのですが、この事もその相手を鏡とし、私に教えて頂いたこと感謝し、日々、自分の所作、言葉使いに注意していきたいと思ってきました。



## ◇ 原石を磨け ◇

キラキラ光輝く宝石も、何もしなければ、ただの石です。

しかしその石を磨くと、とても美しい宝石になるのです。

人間も同じだと思います。

どのような素晴らしい人生を描いても、それを現実にするには、何もしないでいては、いつまでたっても輝きはしません。夢は現実にはなりません！目標は達成しません。それどころか不平不満を募らせ、人のせいにして、自暴自棄になったりします。

そうです!! 何もせずして自分の思う事が叶うわけはありません。

偉せになりたい。願いを叶えたいのであれば、原石(自分)も磨く事!!

それは 苦しい・つらい・時には 心に大きな痛みをもたらす事もあるでしょう。

心の尖った・汚れた分を削り落とし、磨くわけですから容易な事ではなく、決して簡単に進める事柄でもありません。

しかし、誰でも宝石になるチャンスはあります。

自分を自らの手で磨く事こそが、大いなる輝きになる。そして、その経験は誰かに汚されても、傷つけられてもまた、自らの力で汚れを落とし、再び磨きをかける事が出来る様になります。

そしてその都度輝きは、ますます美しく放つと思えます。それこそが、本当の俵せを頂けたと言う事だと思えます。

そのためには、日々のお題目を唱える事。

心が迷った時、納得のいかない事があった時は、無心にお題目を唱えましょう。

少しずつ心が落ち着き、癒されていく事を感じます。

すると、色々な出来事を冷静に考えられます。

気持ちも落ち着き、思わぬ知恵・チャンスを与えて頂けます。

自分の人生です。俵せになりたいのであれば、自分が俵せになれるように努めなければなりません。

それは、自分自身に磨きをかける事。

お題目・法華經が磨きをかける事に、大いなる  
力もあたえて下さいます。

磨きをかけて、幸せな人生を輝く日々を過ご  
しましょう。

# < 9月の行事予定 >

9月13日(金) 10:00~ 宗祖日蓮大聖人報恩会  
龍口法難会  
鬼子母尊神 ) 祈禱会  
七面大明神 )  
23日(月) 13:00~ 秋季彼岸中日法要会  
大古久尊天祈願会

# < 住職の予定 >

9月5日(水) 12:00~ 教区 修法師会  
岐阜グラントホール

# < 9月の予定 >

9月6日(金)	各々の時間で	清掃 準備
↓	↓	↓
12日(木)		
13日(金)	法要後	片付け 準備
14日(土)	各々の時間で	清掃 準備
↓	↓	↓
22日(日)		